

令和7年度
第2回

進路説明会

令和7年10月10日(金)

板橋区立加賀中学校

進路を考えるときに・・・

- ① **どんな職業**に就きたいか。
- ② そのためには、**どんな進路**をとったらよいか。
- ③ 自分の適性・実力、進路の情報や知識などの
いろいろな角度から検討して考える。
- ④ **家庭でよく進路について話し合う。**

これが進路決定の中心となります。



**多くの中学生は
進路選択として「進学」を選びます**

**「進学」先で
何を求め、何を身につけていくのかを
よく考える必要があります**

**進路 = 行ける学校
・・・ではありません**



高等学校の 種類と内容

設置者別

都立……都内全域にあり、原則共学。

私立……各校独自の教育理念に基づいた教育が行われている。

男子校、女子校、男女別学の学校、男女共学の学校がある。

国立……都内には6校あり、すべて国立大学の付属高校である。

入試日は都立高校よりも早い。

課程別

全日制…平日の朝登校して、午後まで授業を受ける。修業年限は3年。

定時制…ある一定の時間帯にまとめて授業を受ける。修業年限は3年以上で4年が多い。

通信制…普段は郵送される教材や放送を使って自宅で学習する。

単位の取得方法別

学年制…学年によりそれぞれの取得しなければならない単位(授業)が決められている。多くの高校は学年制。

単位制…自分に応じた科目を選び、単位を積み上げていく。必要な単位数をとらないと卒業できない。自分で時間割を作る。

教育内容別

普通科……普通科目を教育する。
コース制を設けているところもある。(語学、理数など)

専門学科…専門的な知識や技術を教育する。
(商業、工業、科学技術、農業、芸術など)

総合学科…普通科目と専門科目の両方を教育する。



入試制度 都立高校編

都立入試の募集について

応募資格

都内に住所を有し
保護者と同居している者

入学後も引き続き都内から通学することが確実な者

都立高校の入試

① 推薦入試（推薦に基づく入試）

- ◆ 一般推薦
- ◆ 文化・スポーツ等特別推薦
- ◆ 理数等特別推薦

② 一般入試（学力検査に基づく入試）

- ◆ 第一次募集
- ◆ 第二次募集

➡ ①推薦入試について

応募資格

- 第一志望であること
- 志願変更はできない
- 受検辞退や合格発表後の辞退は不可
- 中学校長の推薦を受けた者
- 応募倍率は2倍以上になることが多い

昨年度 北園：2.61 豊島：4.0 板橋：3.48

文化・スポーツ等特別推薦

- 学校の個性化・特色化の推進
- 卓越した能力をもつ生徒を評価

同じ学校の

一般推薦にも出願することが可能

推薦に基づく選抜日程（一般推薦及び特別推薦）

出願 令和8年12月19日（金）～1月8日（木）

→ **インターネット出願（入力期間）**

※ 1月8日以降に学校での承認作業を行います。

検査 令和8年1月26日（月）・27（火）

発表 令和7年2月2日（月）

→ **HPと校内掲示**

※ 合格したら **必ず進学** しなければならない

推薦に基づく選抜日程（一般推薦及び特別推薦）

提出書類

- ・ 一般推薦書（中学校作成）
- ・ 入学願書（受検生作成）
- ・ 自己PRカード（受検生作成）
- ・ 調査書（中学校作成）

中学校から郵送

- ・ 入学考査料 サイト上決済または領収証書をアップロード

※両方受検の場合は推薦書と考査料がそれぞれに必要

選考について（推薦）

- 調査書
- 推薦書
- 個人面接
- 小論文or作文

集団討論は各校ごとに
←実施の有無が異なる

特別推薦のみ

- 個人面接or集団面接
- 実技検査

➡ ②一般入試について

- 学力検査を行う一般的な入試
- 願書提出後に志願変更ができる
- 一次募集
 - 原則 5 教科（国数英社理）
- 二次募集
 - 原則 3 教科（国数英）

学力検査に基づく選抜日程（第一次募集）

出願 令和7年12月19日（金）～2月5日（木）
→ **インターネット出願（入力期間）**

検査 令和8年2月21日（土）
面接等がある学校はこの日以後に指定される

発表 令和8年3月2日（月）
→ **HPと校内掲示**

学力検査に基づく選抜日程（第一次募集）

提出書類

- ・ 入学願書（受検生作成）
- ・ 調査書（中学校作成）
- ・ スピーキングテスト個人レポート
（中学校作成）
- ・ 自己PRカード（受検生作成）
※面接がある学校は出願時に提出する
- ・ 入学考査料 サイト上決済または領収証書をアップロード

中学校から
郵送

志願変更

入学願書取下げ

令和8年2月12日（木）

入学願書再提出

令和8年2月13日（金）

※新聞や東京都教育委員会HPにより、
志願者倍率を調べる必要がある。

※変更できないケースもある。

応募人数変化の例 令和6年度入試

		取り下げ前		志願変更後	
学校名	募集人数	応募人数	倍率	応募人数	倍率
豊島	253	612	2.42	574	2.27
文京	284	399	1.4	408	1.44
竹台	183	295	1.61	280	1.53
板橋	221	362	1.64	348	1.57
大山	169	90	0.53	103	0.61
北園	253	458	1.81	450	1.78
高島	252	313	1.24	326	1.29

Q. インフルエンザ等にかかり学力検査
(第一次募集) を受けられませんでした。

A.

学校保健安全法第19条による出席停止により、第一次募集を受検できなかった生徒は『追検査』による特別措置があります。

追検査は後期募集と同じ日程ですが、扱いは異なります。

特別措置

出願

令和8年3月 5日（木）

追検査

令和8年3月10日（火）

※インフルエンザ・新型コロナウイルス等
学校感染症罹患者に対して実施

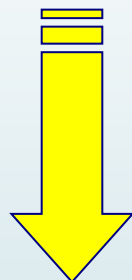
一般入試の総合得点の算出

学力検査の得点

500点満点

調査書点

65点満点



700点満点に換算



300点満点に換算

合計 1000点満点

+スピーキング
テスト（20点）

※一部の学校はさらに面接・作文を実施

一般入試の調査書点について

学力検査を5教科実施した場合、学力検査を実施しない実技4教科を2倍にして計算

教科	国	数	英	社	理	音	美	体	技・家
学力検査	○	○	○	○	○				
内申	5	5	5	5	5	5	5	5	5

5×5

+

$5 \times 4 \times 2$

=

65点満点

総合得点の算出方法（全日制）

➡ 5教科入試（比率 7 : 3）のA高校を受験

教科	国	数	英	社	理	音	美	体	技・家
学力 検査	83	65	92	68	94				
内申	4	3	4	3	5	3	3	2	4

402点

$$(4 + 3 + 4 + 3 + 5) + (3 + 3 + 2 + 4) \times 2 = 43 \text{点}$$

総合得点

+ 【スピーキングテスト・20点満点】

学力検査点

$$\frac{402}{500} \times 700$$

(~~562.8~~)

+

調査書点

$$\frac{43}{65} \times 300$$

(~~198.4~~)

=

760点

スピーキングテストについて

■AからFまでの6段階で評価をされ、評価を点数に換算

ESAT-J結果 (評価)	A	B	C	D	E	F
都立高等学校入試で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

スピーキングテスト (ESAT-J 3)

中学校の授業で学んだ英語で「どのくらい話せるようになったか」を測るためのテスト。令和4年度から、都内公立中学校3年生を対象にした「ESAT-J」の実施を開始、令和5年度から、中学校1年生対象の「ESAT-J YEAR 1」、2年生対象の「ESAT-J YEAR 2」を開始。

【実施日】

令和7年11月23日（日） 予備日：12月14日（日）

【会場】

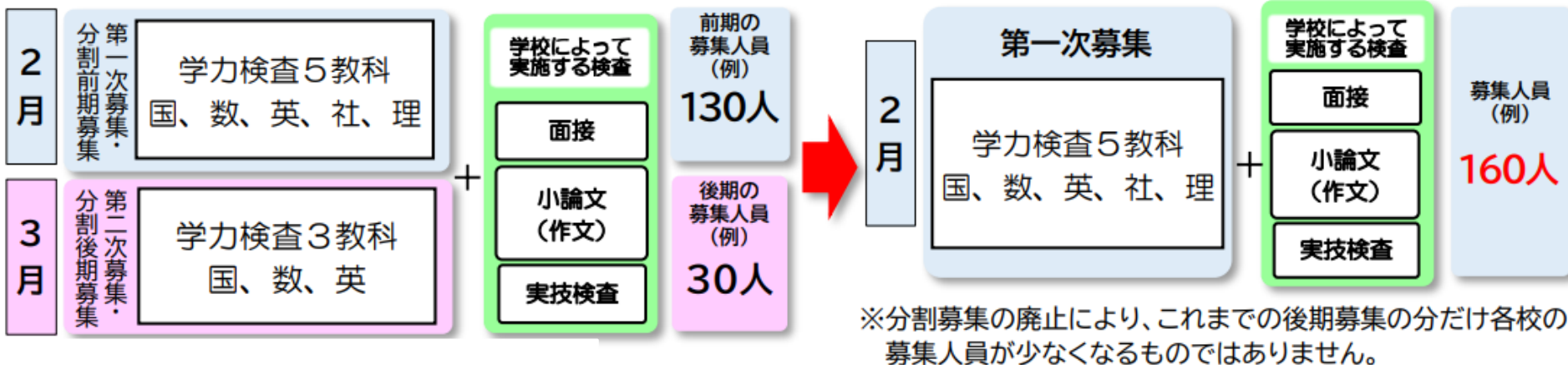
都立学校、大学、民間施設等

都立入試 主な変更点

これまで

全日制課程(募集人員 160 人の学校の例)

変更後



【これまで分割募集を実施してきた全日制課程の高校】

日本橋高校、八潮高校、蒲田高校、田園調布高校、深沢高校、竹台高校、大山高校、田柄高校、青井高校、足立新田高校、足立東高校、淵江高校、南葛飾高校、府中東高校、山崎高校、東村山高校、羽村高校、秋留台高校、野津田高校、中野工科高校、練馬工科高校



入試制度 私立高校編

私立高校の入試

①推薦入試

中学校長の推薦を受け、各高校との入試相談を経て、面接・適性検査等を受験する。

②併願優遇入試

各高校との入試相談を経て、上位志望校が不合格だった場合、進学することを約束して一般受験の生徒とともに学力検査等を受験する。

※合格後は他校の二次募集等を受験できない

③一般入試（フリー入試）

学力試験・面接・実技試験等を受験する。

都内私立高校入試 日程例

＜推薦＞

入試相談	1 2 月 1 5 日～
出願	1 月 1 5 日～
試験	1 月 2 2 日～
合格発表	1 月 2 3 日～

＜一般・併願優遇＞

出願	1 月 2 5 日～
試験	2 月 1 0 日～
合格発表	試験日翌日など

私立高校入試の形態

第1希望

推薦入試

中学校校長の推薦が必要
内申点等の基準あり（一部出願資格のみ）

第2希望

併願優遇

内申点等の基準あり
一般入試で優遇（不合格の可能性有）

何でも

一般入試

筆記試験と面接・作文の結果で合否決定

入試相談とは・・・

中学校の先生と私立高校の先生との間で、あらかじめの相談があります。高校側からの推薦基準を具体的な数値で示し、ある程度の可能性を知ることができます。

例) 内申27(9教科), 10(3教科), 1は不可
3年間合計欠席15日以内,
中学校の生活面で問題のない者 など

①（単願・A）推薦

- 第一志望であること
- 受験辞退や合格した場合の入学辞退は不可

〈推薦条件〉

- ・ 中学校長の推薦を受けた者
- ・ 高校の示す基準や条件を満たしている
- ・ 中学校と高校間の入試相談が必要である

〈特徴〉

- ・ 説明会や体験入学の出席を出願条件とする場合がある
- ・ 調査書、面接、作文、適性検査等による選考

② 併願優遇

※上位志望校が不合格の場合は必ず入学する

※合格後は他校の二次募集は受験不可

〈条件〉

- ・ 高校の示す基準や条件を満たしている
(推薦入試より高い基準や条件)
- ・ 中学校と高校間の入試相談が必要である

〈特徴〉

- ・ 一般入試で一般受験の生徒とともに学力検査等を受ける
- ・ 都立（一次・分割前期）の合格発表まで入学手続きを待ってくれる（延納手続きが必要な場合がある）
- ・ 他の私立高校を第一志望に認める場合も増えている

私立高校の出願について

- ・ 願書 各自が取り寄せる
- ・ 受験料 20,000円程度
- ・ 調査書 作成は、中学校で行う
 開封厳禁（無効になる）
- ・ その他 都立などとの併願では、手続きを
 延納できる場合がある。
 （延納届けが必要な場合は注意）

◆併願優遇

上位志望校が不合格の場合は**必ず入学する**。

◆条 件

- ・ 高校の示す基準や条件を満たしている。
- ・ 中学校と高校間の**入試相談**が必要である。

◆特 徴

- ・ **一般入試**を受験する。合格可能性は比較的高い。
- ・ 入試の得点によっては不合格になるときもある。
- ・ 都立（一次・分割前期）の合格発表まで入学金等を待ってくれることが多い。
- ・ 都立（追検査）の合格発表まで入学金等を待ってくれるか否かは、各私立高校との確認が必要。

私立高校 受験校決定までの留意点

①希望校の説明会に保護者と参加

それぞれの目で見て、比較・検討する。

入試の仕組み、内容をしっかり理解する。

個別相談をする。（推薦・併願優遇希望者）

②保護者と十分相談し受験校を決定

志望の意志が明確でないと私立高校との

入試相談は進められません。

推薦・併願優遇・一般入試までの流れ

10月	第一志望校（都立・私立の方向）の明確化	
11月	三者面談 → 具体的な志望校	
12月	三者面談	
	→ 私立受験校決定	
	→ 受験方法（推薦or併願優遇or一般）決定	
	成績判定会議（校内）	
	入試相談 → 私立高校の判定	
1月～ 2月	<推薦> 願書提出（1/15～） 推薦入試（1/22～） 合格発表（1/23～）	<併願優遇> 願書提出（1/25～） 一般入試（2/10～） 合格発表（2/11～）

※都外の学校を受験する場合は日程が異なります。

受験・卒業関連で準備するもの

- ①調査書等記載住所氏名など確認書類
- ②諸活動の記録作成準備資料
- ③卒業証書用氏名確認

10/23(木)
配布予定

- ④受験用個人写真撮影…11月18日(火)

- ⑤調査書等作成依頼書
- ⑥推薦願…推薦希望者
- ⑦併願優遇願…併願優遇希望者

12月面談時
配布予定

第9学年保護者様

令和7年10月23日

板橋区立加賀中学校
校長 松本 彰弘

諸活動の記録 作成準備資料

秋の候、保護者のみなさまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、高校受験の際に都立高校と一部私立高校に提出する調査書の中に「諸活動の記録」欄があります。この欄は、学校内外の活動から特筆すべき活動を取り上げて、活動の事実や実績を客観的な記録として記入する欄です。「学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動・ボランティア活動・資格検定等の取得」などが該当します。

つきましては下の例を参考にして、この欄に記入する内容の希望を簡易書きで、6項目以内でご記入の上、11月7日(金)までに生徒を通じて担任へご提出ください。もしくは面談の際にお持ちいただいても構いません。記入に際しては、お子様とご相談のうえ、正確にお書きいただきますようお願いいたします。

<例>

- ・図書委員として「図書便り」の作成を担当（第3学年）
- ・テニス部員として3年間活動、区大会新人戦で3位に入賞（第2学年）
- ・美術作品〇〇が、区展で銀賞を受賞（第3学年）
- ・高齢者福祉施設を定期的に訪問（第1学年～第3学年）
- ・英語検定3級取得 漢字検定準2級取得（第3学年）

※注意

英検・漢検・数検など一般的に知られている検定試験は、「英語検定」などで結構です。

9 年 組 番 生徒氏名

保護者氏名

①

②

③

④

⑤

⑥

第9学年保護者様

令和7年10月23日

板橋区立加賀中学校
校長 松本 彰弘

調査書等記載住所氏名など確認のお願い

秋の候、保護者のみなさまにはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、中学校卒業後の進学・就職等、進路に関して提出する入学願書、受験票、自己PRカード、当日の答案、調査書、成績一覧表などには本人・保護者の氏名及び住所などを統一して使用する必要があります。これらの書類へ正確に記入するため、下記の内容について確認させていただきます。

11月7日(金)までに担任へご提出ください。もしくは面談の際にお持ちいただいても構いません。

(記入上の注意点)

- ① 住所は、出席時に生徒本人の住民票記載地と同様でなくてはなりません。ご確認ください。
- ② 保護者名は、願書に「保護者」として記載する方の氏名をご記入ください。
- ③ 氏名に使われる漢字の細かい部分について、正確に確認ができるように枠内に大きくはっきりと楷書でお書きください。（願書に記載する文字と同じでなければなりません。）
例 澤・沢 邊・邊 島・嶋 高・高 崎・崎
- ④ 保護者の方がお書きください。また、コピー等をしておいてください。

クラス・出席番号	組	番	
フリガナ			
氏名（漢字）			
生年月日	平成	年	月 日
郵便番号			-
現住所			
電話番号			
フリガナ			
保護者氏名（漢字）			

- ・楷書で記入してください。
- ・氏名フリガナ欄は、姓と名の間を少し空けてください。
- ・外国籍の方は、登録証など公的な書類にある表記と同一の内容でご記入ください。

卒業証書の氏名確認について

お子様の卒業まで五ヶ月ほどとなりました。ついては、卒業証書に記載する氏名・生年月日を確認させていただきます。この用紙にご記入いただいた字体で卒業証書を作成しますので、**保護者の方が**、大きく、楷書（一点一画くずさず）で正確にご記入いただきますよう、お願いいたします。記載する氏名と生年月日をご記入の上、**十一月七日（金）**までに担任へご提出ください。面談の際にお持ちいただいても構いません。なお、生年月日は原則元号を用いた表記となりますが、西暦をご希望の場合は、縦書き漢数字でご記入ください。その場合でも卒業年月日は元号表記となります。

令和七年十月二十三日

板橋区立加賀中学校長 松本 彰弘

第九学年保護者様

《卒業証書用》記入例

(組・番号)	(空欄)	氏	名	生年月日
四組 三十九番		加賀	太郎	平成十九年 五月十六日

卒業証書表記・記載内容確認

《卒業証書用》提出用

(組・番号)	(空欄)	氏	名	生年月日
組 番				平成 月 年 日生

出願手続（出願書類等提出方法）

入学願書（紙）は提出せず、志願者がインターネット上の出願サイトで志願者情報を入力

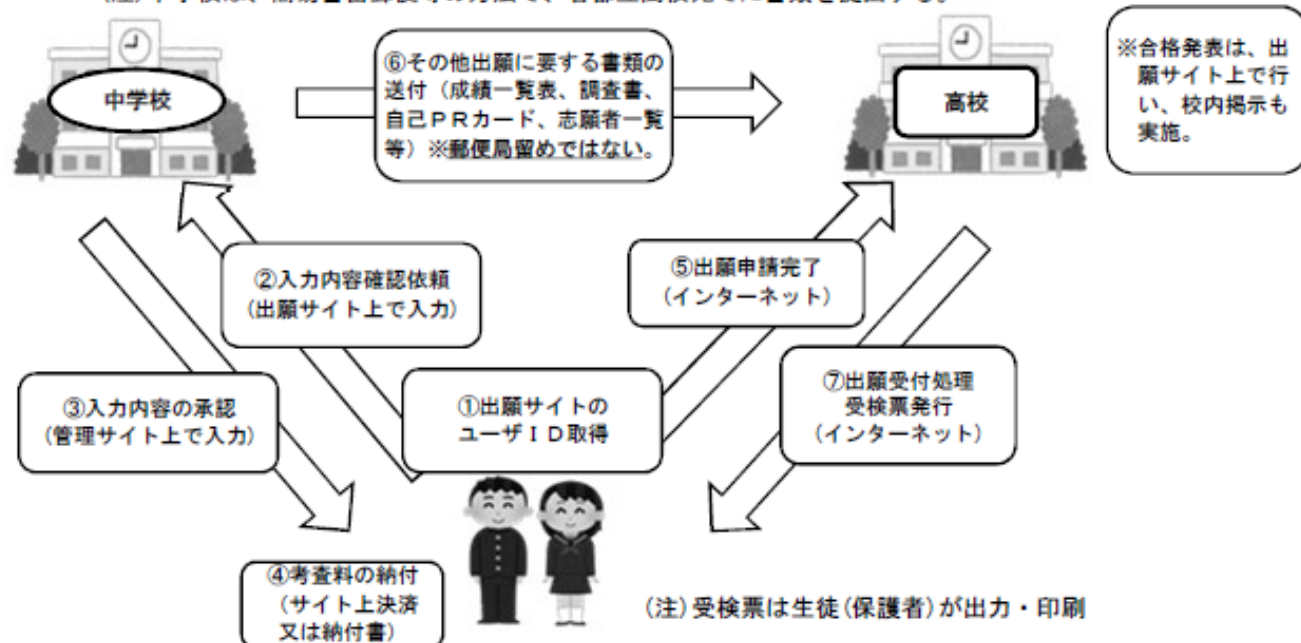
- ◆その他出願に要する書類の提出は、中学校を通じて志願先の高校へ提出する。
- ◆志願者は、出願サイト上で受検票の交付を受ける。

【対象】 推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集
（チャレンジスクール、定時制課程単位制も含む。）

出願手続（出願書類等提出方法）

インターネットを活用した出願について

(注) 中学校は、簡易書留郵便等の方法で、各都立高校宛てに書類を提出する。



※やむを得ずインターネット出願を行えない志願者は所定の入学願書を用いて出願を行う。

令和6年度

東京都立高等学校入学者選抜

〈インターネット出願の利用の手引き〉

【志願者用】

